

埼玉県勤労者山岳連盟第50期 定期総会大盛會に終わる

2017年3月26日（日）午後13：00よりさいたま市高鼻コミュニティセンターで第50期定期総会が開催されました。13：35分尾手事務局長より挨拶。議長選出要請により熊谷トレッキング同人の北氏、浦和くまざさ山岳会の遠藤氏が決まる。

書記には、上福岡山なみハイキングクラブの岩田氏と三郷山の会の富田氏、資格審査は千葉理事と決定した。議長挨拶の後、武笠理事長より理事会を代表して力強い挨拶があった。

埼玉県防災へり有料化、伊藤正一さんと山本辰平さんをしのぶ会、県連50周年祝賀会、および記念誌への記載原稿の依頼等であった。その後、資格審査報告が千葉理事より報告され代議員数57名の所、参加者34名、委任状10名、合計44名で成立との確認が報告され、議長が総会創立宣言をする。瀬下理事総会運営委員から次年度役員選出の説明（立候補15：00まで受付）があった。議事進行表に沿って2016年度全体的な県連の推移の報告並びに資料集についての説明、各委員会活動報告が担当理事よりされた。（休憩）15：20再開。議長交代し2017年度活動計画案が、各担当理事より報告された。主な質疑としては、大宮労山の岡野氏より、防災へりの遭難救助の際の有料化についての申し入れについて県連と（県下の）他の登山団体の名前が無かった。安易な登山で事故を起こすのは良くないが、緊急の場合はためらわずに呼べるようにすべき。武笠理事長より、へりの今後の（有料化）運用も含めて理事会で検討したい。大宮労山の太知氏より、会員数減と年齢上昇についての対策として登山学校は使えない

のか？木村副理事長より、無所属の卒業生について入会を勧めており実際に入会している方が多い新座山の会の加納氏より、どのくらい入会しているのか？

登山学校運営委員より、20期12名、21期6名、22期15名 無所属の方は概ね年齢が若い。入会を促すため、登山学校のHPのTOPページに各会へのリンクを貼る事もでき新座山の会は既に設定されている。此処までの質疑・討議を経て第一号、第二号議案拍手多数にて採決。

16：30選挙管理委員から役員選出の結果報告があり、2016年度副理事長の木村哲也、嶋田好枝、佐藤久子理事の退任と清水常好監事の退任挨拶があり、新役員として大知（大宮労山）、鈴木京（所ハイ）、橋本健一（熊トレ）の3名が紹介され、挨拶があった。（鈴木氏、橋本氏は欠席）2017年度の理事長、事務局長は変わらず継続となる。また副理事長は、岩岡宏保（中部）、矢吹英則（西部）、高野久美（南部）、（内は担当ブロック）が選出された。最後に武笠理事長から、50周年記念行事にむけてのお願いがあり、17：00閉会となる。県連創立50年に向け、県連参加山の会が一丸となり、楽しく、元気で、安全登山の活動をしていけるようみんなで少しずつ力を出し合い、頑張りましょう。（加藤・記）

